

日本専門医機構基本領域臨床検査専門医研修修了書類提出及び第3回認定試験実施要領（2023年度）

日本専門医機構基本領域臨床検査専門医 臨床検査専門研修プログラム整備基準による3年以上の研修が修了した2018年度、2019年度、2020年度からの専攻医（プログラム制・カリキュラム制）が受験対象者となります。日本臨床検査医学会臨床検査専門医制度による認定試験ではありません。

■試験日：2023年8月6日（日）8：30-16：30 予定

■場所：帝京大学 医学部（東京都板橋区加賀2-11-1）予定

■研修修了書類及び受験申請書提出期間：2023年4月10日（月）～5月15日（月）

■提出書類

- 1) 臨床検査専門医 専門研修修了 証明書（様式F1）
- 2) 臨床検査専門医 専門研修修了 通知書（様式F2）
- 3) 臨床検査専門医 専門研修修了 確認書（様式F3）
- 4) （様式F3）に付随する必要書類

※研修実績記録、研修評価表、学術活動はそのまま

経験すべき臨床検査、報告書の作成とコンサルテーションへの対応、RCPC、地域医療の経験は一篇提出

- 5) 受験申請書（様式F4）

- 6) 機構専門医認定試験受験料（55,000円） 注：納入された受験料は返金しません。

受験料は、下記何れかの銀行口座へご送金ください。そして送金の証明となる書類コピーをご提出ください。銀行送金で証拠書類がない場合は送金銀行名、送金日、送金者名をお知らせ下さい。

●ゆうちょ銀行 ○一九（ゼロイチキョウ）店（019）当座 0613334

名義：日本臨床検査医学会（ニホンリンショウケンサイガクカイ）

●三菱UFJ銀行 神保町支店（ジンボウチョウ） 普通預金 口座番号：2358455

名義：日本臨床検査医学会（ニホンリンショウケンサイガクカイ）

■提出方法：郵送（書留、簡易書留それに準ずる送付方法）、メール（office@jslm.org）での提出・提出先

- 1) 郵送等：〒101-0052 東京都千代田区神田小川町2-2UIビル2F

日本専門医機構 臨床検査専門医試験 係

- 2) メール：office@jslm.org

※提出書類の1)～4)は、日本臨床検査医学会ホームページ「日本専門医機構基本領域臨床検査専門医⇒研修について」（<https://jslm.org/recognition/physician/index.html>）

[2023/02/17] 2023年3月専門研修修了予定の専攻医認定試験受験の流れ・関連する書類に掲載しています。

■一次合否結果発表日：2023年10月初旬（予定）に、HPに掲載し、個別に一次合否結果を送付します。

備考：一次合格者は、日本臨床検査医学会に登録料（33,000円）の納付手続きがあります。

日本臨床検査医学会で日本専門医機構に一次審査結果を報告後、機構において二次審査があり、一次・二次合格者には機構より直接、認定料（11,000円）の請求があり納付後に認定証が送付されます。

■出題範囲と基準

- (1) 日本専門医機構認定の臨床検査専門研修カリキュラム

（<https://www.jslm.org/recognition/physician/curriculum.pdf>）（：以下カリキュラム）の内容にしたがう。筆記試験、実技試験、口頭試問（面接）を行う。新カリキュラムの①臨床検査医学総論、②一般臨床検査学・臨床化学、③臨床血液学、④臨床微生物学、⑤臨床免疫学・輸血学、⑥遺伝子関連検査学、⑦臨床生理学、以上7科目を行う。

- (2) 実技試験は、カリキュラムにおける「解釈・判定（判読、読影）できる」、「実施できる」の項目についての習得度を問う。

■出題方式

- (1) 筆記試験の問題回答は、7★科目について、多肢選択問題計100題（Aタイプ /5肢択一、X2

タイプ /5 肢択二、タキソノミー*II、III 中心、視覚教材使用あり)

(2)実技試験は 6★★科目、症例問題形式、動画(バーチャルスライド、画像、形態観察、検査実施)などによる出題。回答は原則として記述または口答による。

(3) 口頭試問(面接)は 1 科目(臨床検査医学総論)

★7 科目：①臨床検査医学総論、②一般臨床検査学・臨床化学、③臨床血液学、④臨床微生物学、⑤臨床免疫学・輸血学、⑥遺伝子関連検査学、⑦臨床生理学

★★6 科目：②一般臨床検査学・臨床化学、③臨床血液学、④臨床微生物学、⑤臨床免疫学・輸血学、

⑥遺伝子関連検査学、⑦臨床生理学

*タキソノミー(taxonomy、評価領域分類)は、教育目標毎に問題の解答に要する知的能力のレベルを分類したもので、一般に認知領域では I・II・III 型に分類される。

I 型は単純な知識の想起によって解答できる問題、II 型は与えられた情報を理解・解釈してその結果に基づいて解答する問題、III 型は設問文の状況を理解・解釈した上で、各選択肢の持つ意味を解釈して具体的な問題解決を求める問題である。

■実技試験の概要

○一般臨床検査学・臨床化学の内容は、測定前プロセスの影響、検査の内部管理の手法、検査性能・基準値(基準範囲)の設定・評価(ROC 曲線、カットオフ値など)、検査の分析的妥当性・臨床的妥当性、酵素アイソザイム検査、尿沈渣所見の判定・評価、尿沈渣標本作製などとする。

○臨床血液学の内容は、採血(サンプリング)、自動血球計数機器、バーチャルスライドによる血液形態所見(白血球系・赤血球系・血小板系疾患、末梢血・骨髓塗抹標本)、フローサイトメトリーによる細胞表面マーカー所見、止血凝固検査の判定・評価などとする。

○臨床微生物学の内容は、塗抹標本の顕微鏡による観察、抗菌薬耐性菌、寄生虫検査などの検査所見の判定・評価とする。

○臨床免疫学・輸血学の内容は、血液型判定、クロスマッチ、不規則抗体判定、蛋白分画、抗核抗体、免疫電気泳動などの検査所見の判定・評価とする。

○遺伝子関連検査学の内容は、遺伝子関連検査の基礎(分子遺伝学や遺伝性疾患の基本事項、遺伝子関連検査の概略、遺伝学的検査における倫理条項)、遺伝子検査技術(試料の取り扱い、遺伝子検査法の原理と問題点、精度管理)、遺伝子関連検査の判定と解釈などとする。

○臨床生理学の内容は、標準 12 誘導心電図検査の基本手技、心電図・超音波・肺機能・脳波などの検査所見の評価・判定とする。

■口頭試問(面接)の概要口頭試問はカリキュラムの①臨床検査医学総論の項目の習得度を問う。また、医師としての人間性も評価の対象となる。

■注意事項

(1)研修が修了して受験資格が得られるまでの流れは以下のようになります。

まず、研修の修了認定は基幹施設の研修プログラム管理委員会によって行われます。この際には、必要とされる実績を含めたすべての関連書類を同委員会に提出し、面接を受けてください。上記の学会への提出書式 F3 に付随する書類はその一部になります。また、書式 F1 と F2 はプログラム統括責任者から準備していただくことになります。

学会での一次審査で承認されますと、日本専門医機構で二次審査され、承認されますと最終的な研修修了認定書が発行されます(機構システム上)。また、受験票が学会から発行されます。

(2)2018 年度、2019 年度、2020 年度からの専攻医(プログラム制・カリキュラム制)で、受験を見合わせる場合は必ず下記の対応をお願いいたします。

【プログラム制研修の場合】

・研修を延長する場合、その理由を記した延長届(氏名、研修開始年、延長期間、延長理由を記載)を日本臨床検査医学会日本専門医機構認定臨床検査専門医更新資格審査委員会宛にご提出ください。(郵送、メール添付可能: pg@jslm.org)

【カリキュラム制研修の場合】

・研修期間は最低 3 年としており今回の受験を見送るのは差支えありませんが、その場合はメール(pg@jslm.org)で氏名、研修開始年、延長期間、延長理由をご連絡ください。